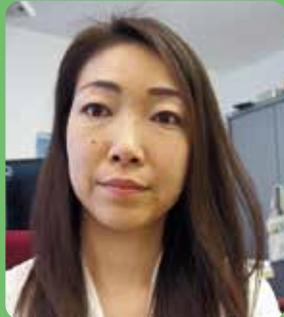


## Model 05

経済産業省(外務省出向中)  
経済協力開発機構(OECD)  
環境局環境健康安全課ナノテクノロジー担当



むねかね てるみ  
**宗兼 彰美**  
Terumi Munekane

## 海外で育児

## 現在とこれまでの仕事

私は現在、フランスのパリにある経済協力開発機構(OECD)事務局に勤務しています。OECDは「より良い暮らしのためのより良い政策」に向けて、様々な分野における加盟国の共通課題を解決するために、加盟国間の情報交換を促すとともに、政策提言等を行う国際機関です。その取り扱う分野は、経済、開発、貿易だけでなく、教育、雇用、環境など多岐にわたり、「世界最大のシンクタンク」と呼ばれることもあります。

その中で私は、環境局環境健康安全課という部署に所属しており、ナノ材料の安全性に関する国際協力を進めています。日々の業務は、多様な国籍の同僚に囲まれ、35の加盟国やその他関係国、産業界等からの意見を踏まえ、電話会議なども活用しながら文書を取りまとめ、定期的に会議を開催し、合意された文書を発表していくという作業です。様々な国の関係者との調整は、お国柄もさることながら、個人の個性によるところが大きいので、国籍にとらわれることなく、誠実に、明確に対応することを心掛けています。使用言語は英語で、国境を越えた調整という点こそ違いますが、具体的作業は霞が関での業務プロセスに通ずるところがあると思います。科学的に専門的な議論になる時などは力不足を感じることもありますが、周りの方々に助けられながら充実した日々を過ごしています。

入省当時は自分が国際機関で働くようになることは夢にも思いませんでした。入省して最初の配属先は省内の研究開発プロジェクトを総合調整する部署でしたが、その後は、WTO、EPA交渉、化学物質管理における国際協力、資源エネルギー分野における国際協力と、国際分野における業務を中心に担当してきました。また、フランスに2年間留学する機会もいただき、こうした国際的な経験を積

## をしなから

む中で、海外勤務を志すようになり、それを今回実現する機会をいただき嬉しく思います。日々の業務において的確な判断、指示を出してくれる上司や、キャリアパスについて親身になって相談に乗ってくれる先輩など、周りの方々にも恵まれ、こうした出会いがあって初めて現在の私があるのだと感謝しています。

## 育児と仕事

これまでの職務経験の中で、女性であることを理由に損をしたり得をしったりした経験はありません。任せられる仕事にも性別は関係なく、体力的にきつい時もありましたが、男女平等の職場だと思います。

今回の海外赴任においては、赴任後に約4か月の産休を取得し、復帰後は子連れ単身赴任となりました。日本にいてもパートナーが激務だったり親が遠方だったり、家族の協力が得られない中で働く女性も多くいると思いますので、自分が特別大変だと感じたことはありません。むしろ、課員の半分以上がワーキングマザーで、当日中の緊急案件もなく、残業もほとんどないという、非常に恵まれた職場環境で働かせてもらっています。

日々の生活は育児中心で、家事は本当に手抜きですが、そんな中でも、いつもと違うちょっと

フランスっぽい料理を作ってみるとか、部屋を少し片付けて花を飾るとか、本当にささいなことが心にゆとりをもたらすことを覚え、一日一日を丁寧に過ごすことを楽しんでいます。

仕事でもプライベートでも思い通りにいかないことも多いですが、それを思いがけない機会と捉えて、楽しむ余裕を持っていきたいと思っています。

一日の  
タイムスケジュール例

6:30	起床
7:00	朝食
8:00	保育園へ預ける
8:30	出勤
17:30	退庁
18:00	保育園へお迎え
18:30	帰宅
19:00	子供の夕食、お風呂、寝かしつけ
20:30	夕食
23:00	就寝

## Profile

- 平成16年・経済産業省入省(II種(化学区分)採用)産業技術環境局研究開発課総括係員総括業務
- 平成17年・通商政策局通商機構部・経済連携課WTO及びEPA交渉の関税担当
- 平成19年・製造産業局化学物質管理課国際係長化学物質管理に関する国際条約等の担当
- 平成22年・留学(パリ政治学院)欧州関係学専攻
- 平成24年・経済産業省資源エネルギー庁国際課地域協力推進一係長APECや豪州等とのエネルギー協力の推進
- 平成26年・製造産業局化学物質管理課国際係長化学物質管理に関する国際条約等の担当
- 平成27年・経済協力開発機構(OECD)環境局環境健康安全課ナノテクノロジー担当工業用ナノ材料の安全性評価に関する国際協力の促進
  - ～出産  
産前・産後休暇(4か月)
- ～現在・経済協力開発機構(OECD)環境局環境健康安全課ナノテクノロジー担当工業用ナノ材料の安全性評価に関する国際協力の促進

## 女性職員へのメッセージ

出産・育児に限らず、それぞれ事情を抱えていると思いますが、環境を理由に可能性を自ら手で閉ざしてしまうのはもったいないと思います。各人で異なるワークスタイルの「最適なカタチ」を追求していきましょう!